

浸水ハザードマップ

内水ハザードマップ



浸水(内水)ハザードマップとは?

- 浸水(内水)ハザードマップとは、大雨時に下水道などの排水施設の能力を超える降雨が発生した場合、想定される浸水区域や水深などの浸水に関する情報のほか、大雨に備えるための情報をまとめたマップです。
- いわき市では、1時間あたりの雨量が47mm相当に対応する下水道施設の整備を進めていますが、近年、下水道施設の能力を超えるような大雨が増加しています。
- 浸水(内水)ハザードマップに記載されている「浸水想定区域図」は、いわき市で近年大きな浸水被害が発生した過去最大(1時間に91mm)の降雨による浸水発生時の想定区域や想定水深を表示したものです。
- 大雨の際は、洪水による浸水発生の可能性を想定しながら、台風時や集中豪雨時はもちろん、日頃からテレビやラジオなどで気象情報などを確認し、自主的な防災活動を行ってください。
- 大雨の際は、避難勧告や避難指示などの情報に注意しながら、自助や共助の取り組みを踏まえ、水害に備えましょう。

防災・気象情報提供

インターネット、ラジオ、テレビなどで、リアルタイムで正確な情報が入手できますので、積極的に利用してください。

▶ 気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
▶ X-RAIN(Xバンドマルチレーダー雨量情報)	http://www.river.go.jp/xbandradar/
▶ 福島県河川流域総合情報システム	http://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/
▶ いわき市ホームページ	「防災情報サイト」より気象情報や避難情報など災害時に必要な各種情報が確認できます。
▶ NHKデータ放送(テレビ)	気象情報や避難情報など災害時に必要な各種情報が確認できます。
▶ FMいわき(ラジオ)	76.2MHz(メガヘルツ)
▶ いわき市防災メール(登録無料)	いわき市では、防災・気象等の緊急情報についてメール配信しています。 iwaki@entry.mail-dpt.jpへ空メールを送信してください。



いわき市役所 生活環境部
生活排水対策室 下水道事業課
TEL:0246-22-1195

2017年12月作成

浸水への備え

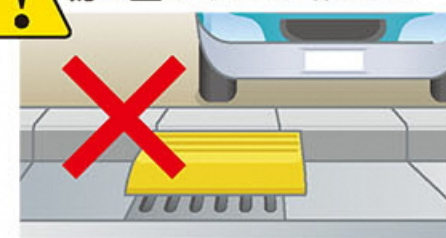
家の近くの側溝や雨水ますの点検・清掃をしましょう。

側溝や雨水ますに落ち葉やゴミなどが詰ったり、物を置いたりすると、雨水が流れなくなり、浸水の原因になります。

▶ 側溝や雨水ますの点検・清掃にご協力をお願いします



物を置かないでください

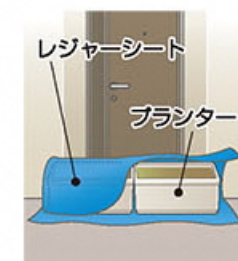


側溝や雨水ますの上に物を置くと、浸水の原因になります。

家庭にある身近なもので浸水を防ぐ用具を準備しましょう。

ご家庭にある用具を利用することにより、浸水被害を軽減させることができます。

▶ 浸水対策例



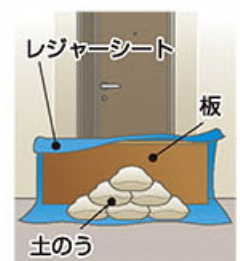
プランターとレジャーシートの組合せ



水を入れたビニール袋とダンボール箱の組合せ



ポリタンクとレジャーシートの組合せ



長めの板、レジャーシートと土のうの組合せ

▶ 水のうで排水口をふさぐ



ビニール袋を水で満たした「水のう」でトイレやお風呂の排水口を一時的にふさぐことで、下水の逆流を防ぐ。

浸水時には心がけましょう

▶ 自助・共助の取り組みを 早めの避難

浸水が発生する前に避難が可能な場合は、隣近所同士で協力しながら避難しましょう。



▶ 水路等にご注意を

避難の際は、原則徒歩での避難となりますが、大雨により水路などが見えづらく危険ですので、近寄らないでください。夜間に行動する場合は、特に注意しましょう。



▶ 高い場所へ避難

避難が困難な場合は、家の2階など高い場所へ避難しましょう。



アンダーパスに注意しましょう。

道路や鉄道などの立体交差部(アンダーパス)では、降雨時に周辺よりも浸水しやすくなるため、大変危険ですので、近づかないようにしましょう。



平常時



浸水時

浸水(内水)発生のメカニズム

▶▶▶ 平常時 浸水(内水)ハザードマップや洪水ハザードマップを活用し、日頃より準備しましょう。



降った雨は、下水道などを通して河川に排水されています。

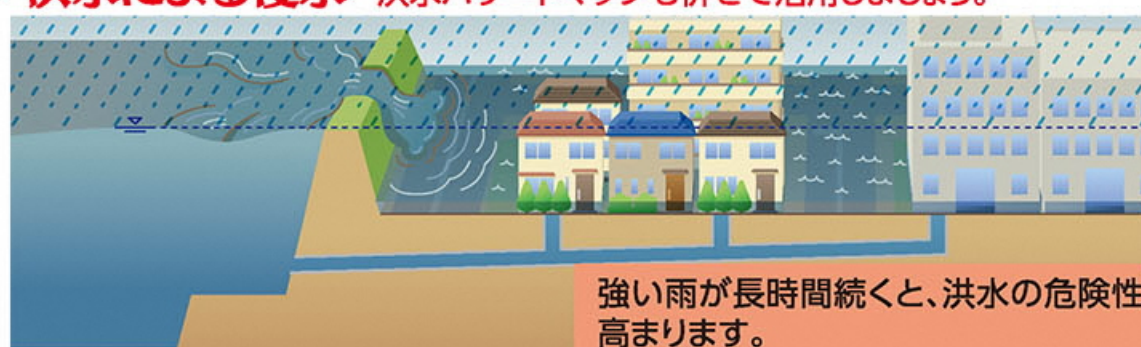
▶▶▶ 内水による浸水 浸水(内水)ハザードマップを活用し、適切に行動しましょう。



大雨が降り、下水道や道路側溝などで排水能力を超えると、道路冠水などの浸水が起こり始めます。

道路側溝や水路、雨水ますからの浸水、マンホールからの雨水流出が発生します。浸水(内水)ハザードマップや洪水ハザードマップにより、日頃から浸水に備えましょう。

▶▶▶ 洪水による浸水 洪水ハザードマップも併せて活用しましょう。



強い雨が長時間続くと、洪水の危険性が高まります。

洪水ハザードマップにより、日頃から洪水に備えましょう。堤防が決壊すると大規模な被害が発生します。また、河川下流域での氾濫、堤防決壊などの不測の事態に際し、ポンプ排水が制限される場合がありますので、周辺状況や災害情報に注意しましょう。

防災メモ 災害に対する 準備について

災害は、いつ起きるか分かりません。非常時にあわてることがないよう、準備をしておきましょう。
● 避難する場合、速やかに避難できるように、避難場所や経路を確認しておきましょう。
● 非常時の持ち物を備えましょう。
(例) ラジオ、懐中電灯、ろうそく、マッチ、貴重品、衣類、飲料水、食料、救急医療品など

雨の強さ、降り方と災害の危険性等

	やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語	小雨	中雨	大雨	非常に大雨	猛烈な大雨
人の受けるイメージ	傘をさして歩く	傘をさして歩く	傘をさして歩く	傘をさして歩く	傘をさして歩く
人への影響と野外的様子	地面からはね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。	道路が川のようになるおそれがある。	傘はまったく役に立たなくなる。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。
災害の危険性	この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	土石流が起これば、多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

家庭でもできる 浸水・環境対策

雨水を利用したつぎの施設を設置する際 いわき市の補助金が受けられます

市では健全な水循環系の確立を目指すため、公共下水道事業計画区域内において、雨水流出抑制施設を設置する方に対し、費用の一部について補助をしています。水の流れを自然の姿に近づけるため、皆さんも雨水の有効利用に取り組みましょう。

1 下水道への接続により不要となる浄化槽の雨水貯留施設への転用

下水道に接続することで、いらなくなった浄化槽を雨水貯留タンクとして利用してもらいます。

2 雨水貯留タンク

雨どいを、雨水貯留タンクに接続し、雨水をためてもらい、庭木や芝への散水に利用してもらいます。

3 雨水浸透ます

雨水ますに、穴を開けてもらい、その周りに砕石や透水シートを敷設することにより、雨水を地下に浸透させます。



※浄化槽転用に関しては、下水道供用開始区域内に限りです。※いわき市または、市が指定する下水道排水設備工事店にご相談ください。

勿来・錦地区版 浸水(内水)想定区域図



浸水(内水)想定区域図の説明

▶ 浸水(内水) 想定区域図について

- ▶ 浸水の範囲と深さについては、シミュレーションに基づいており、実際の状況と異なることがあります。また、不測の事態により、ポンプ排水に制限が生じる場合がありますので、周辺状況や災害情報に注意しましょう。
- ▶ 土地の状況や雨の降り方によっては、想定を超える浸水となったり、想定と異なる場所で浸水が発生したりすることがあります。
- ▶ 避難所などについては、地区の防災活動にご活用いただくため、指定の避難所などを掲載しております。(平成26年3月 指定)。
- ▶ 浸水のおそれがある場合には、安全な場所へ移動してください。

想定条件

1時間に91mmの降雨

※平成25年4月6日～7日に
いわき平観測所で観測された実績降雨

凡 例	
	対象区域
	雨水ポンプ場
	一時避難場所(黒)
	避難所(緑)
	福祉避難所(橙)
	地下道(冠水注意箇所)

凡 例	
浸水の想定深さ	浸水の深さのイメージ
	45cm～ 大人の移動限界・床上浸水発生
	20～45cm 子供の移動限界・車の移動限界
	5～20cm 車のブレーキが利きづらい



※本浸水想定区域図は、水防法第14条の2に規定する雨水出水浸水想定区域とは異なります。

防災メモ

局地的大雨について

局地的大雨とは、ニュースなどでは「ゲリラ豪雨」と呼ばれ、他の地域が小雨であっても、ごく限られた地域で短時間に激しい雨が降ることであり、全国的に増加しています。なお、大雨や洪水の気象情報が発表されていない場合でも、天候の急変により重大な事故につながる可能性がありますので、注意が必要です。

